

2021年4月30日 全7頁

Indicators Update

2021年3月鉱工業生産

自動車の挽回生産や海外向け生産増で生産指数は2ヶ月ぶりに上昇

経済調査部 エコノミスト 小林 若葉

[要約]

- 2021年3月の生産指数は前月比+2.2%と、低下を予想していた市場コンセンサス（同▲2.0%）に反して2ヶ月ぶりに上昇した。2月に発生した福島県沖地震の影響による部品供給不足の解消を受けた挽回生産が見られたほか、海外需要が増加したとみられる自動車工業の増産が全体の上昇に寄与した。そのほか、無機・有機化学工業、プラスチック製品工業などが上昇に寄与した。
- 先行きの生産は、緩やかに上昇するとみている。新型コロナウイルスワクチンの世界的な普及による消費需要や投資需要の拡大が幅広い業種の増産を後押しするほか、世界的な半導体不足の影響を受け、集積回路などの半導体や半導体等製造装置の生産が増加するだろう。国内では3回目の緊急事態宣言が発出されたが、鉱工業生産への影響は小さいだろう。他方、上述の半導体不足による自動車の減産は下押し要因となり、今後さらに押し下げ幅が大きくなる可能性には注意が必要だ。製造工業生産予測調査によると、2021年4月は前月比+8.4%（計画のバイアスを補正した試算値（最頻値）は同+4.6%）、5月は同▲4.3%と見込まれている。
- 5月12日公表予定の3月分の景気動向指数は先行CIが前月差+5.1ptの103.8、一致CIは同+3.0ptの92.9と予想する。この予測値に基づくと、一致CIによる基調判断は機械的に「改善」に上方修正される。

図表1：鉱工業指数の概況（季節調整済み前月比、%）

	2020年					2021年				
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
鉱工業生産	+2.0	+3.7	+2.1	+0.7	▲0.2	+3.1	▲1.3	+2.2		
コンセンサス								▲2.0		
DIR予想								▲1.8		
生産予測調査									+8.4	▲4.3
補正値(最頻値)									+4.6	
出荷	+2.3	+3.8	+2.2	+0.9	▲0.6	+2.9	▲1.3	+0.8		
在庫	▲0.9	▲1.0	▲1.0	▲1.2	+0.6	▲0.9	▲0.7	+0.1		
在庫率	▲2.4	▲4.2	▲3.5	▲1.0	+0.1	▲4.9	+1.0	▲0.8		

(注) コンセンサスはBloomberg。

(出所) Bloomberg、経済産業省統計より大和総研作成

【生産】自動車の挽回生産、海外向け生産増などが全体を押し上げる

2021年3月の生産指数は前月比+2.2%と、低下を予想していた市場コンセンサス(同▲2.0%)に反して2ヶ月ぶりに上昇した。2月に発生した福島県沖地震の影響による部品供給不足の解消を受けた挽回生産が見られたほか、海外需要が増加した自動車工業の増産¹が全体の上昇に寄与した。2021年1-3月期は前期比+3.0%と3四半期連続で上昇し、経済産業省は基調判断を前月の「生産は持ち直している」に据え置いた。

生産指数を業種別に見ると、15業種中9業種が前月から上昇、6業種が低下となった。自動車工業(前月比+7.5%)や無機・有機化学工業(同+6.5%)、プラスチック製品工業(同+2.7%)などが上昇に寄与した。自動車工業では、前月に低下した普通乗用車等の品目が、無機・有機化学工業ではエチレンやポリエチレンが、プラスチック製品工業ではプラスチック製機械器具部品等が上昇した。経済産業省によると、プラスチック製品工業の増産の背景には自動車関連需要やコンテナ・パレットといった輸送関連需要の増加等があったとされており、こうした需要増がプラスチック原料を製造する無機・有機化学工業の増産に繋がったとみられる。

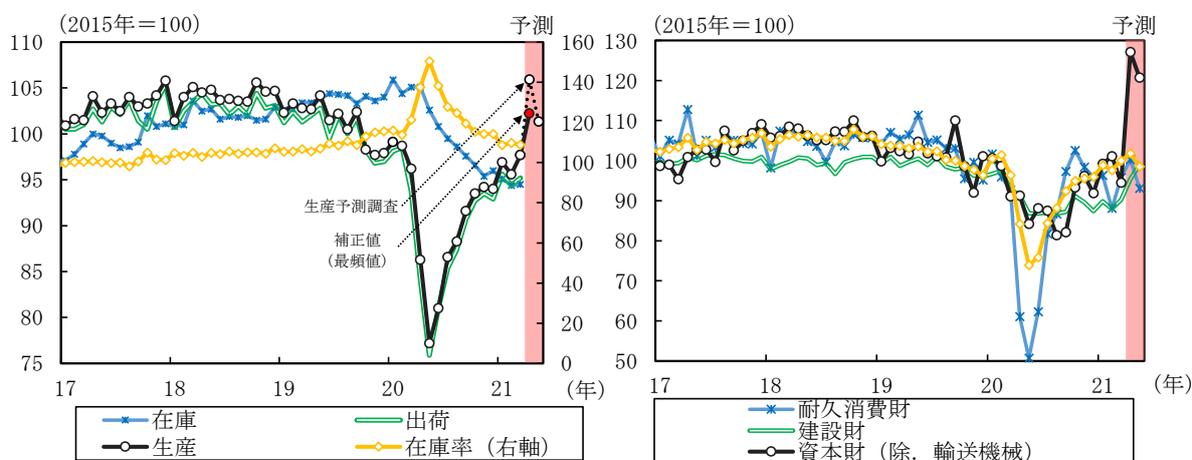
財別では、資本財(除. 輸送機械)(前月比▲6.5%)が低下した一方、建設財(同+2.5%)、消費財(同+3.8%)、生産財(同+2.5%)は上昇した。

【出荷・在庫】鉱工業用生産財や耐久消費財などが上昇に寄与

3月の出荷指数は前月比+0.8%と2ヶ月ぶりに上昇した。業種別に見ると、自動車工業、無機・有機化学工業、鉄鋼・非鉄金属工業などを中心に15業種中9業種で上昇した。財別に見ると、鉱工業用生産財や耐久消費財などが上昇し、資本財(除. 輸送機械)は低下した。

在庫指数は前月比+0.1%と3ヶ月ぶりに上昇した。また、出荷指数よりも在庫指数の上昇率が小幅であったことで、在庫率指数は同▲0.8%と2ヶ月ぶりに低下した。

図表2：鉱工業の生産・出荷・在庫(左)と財別の生産(右)

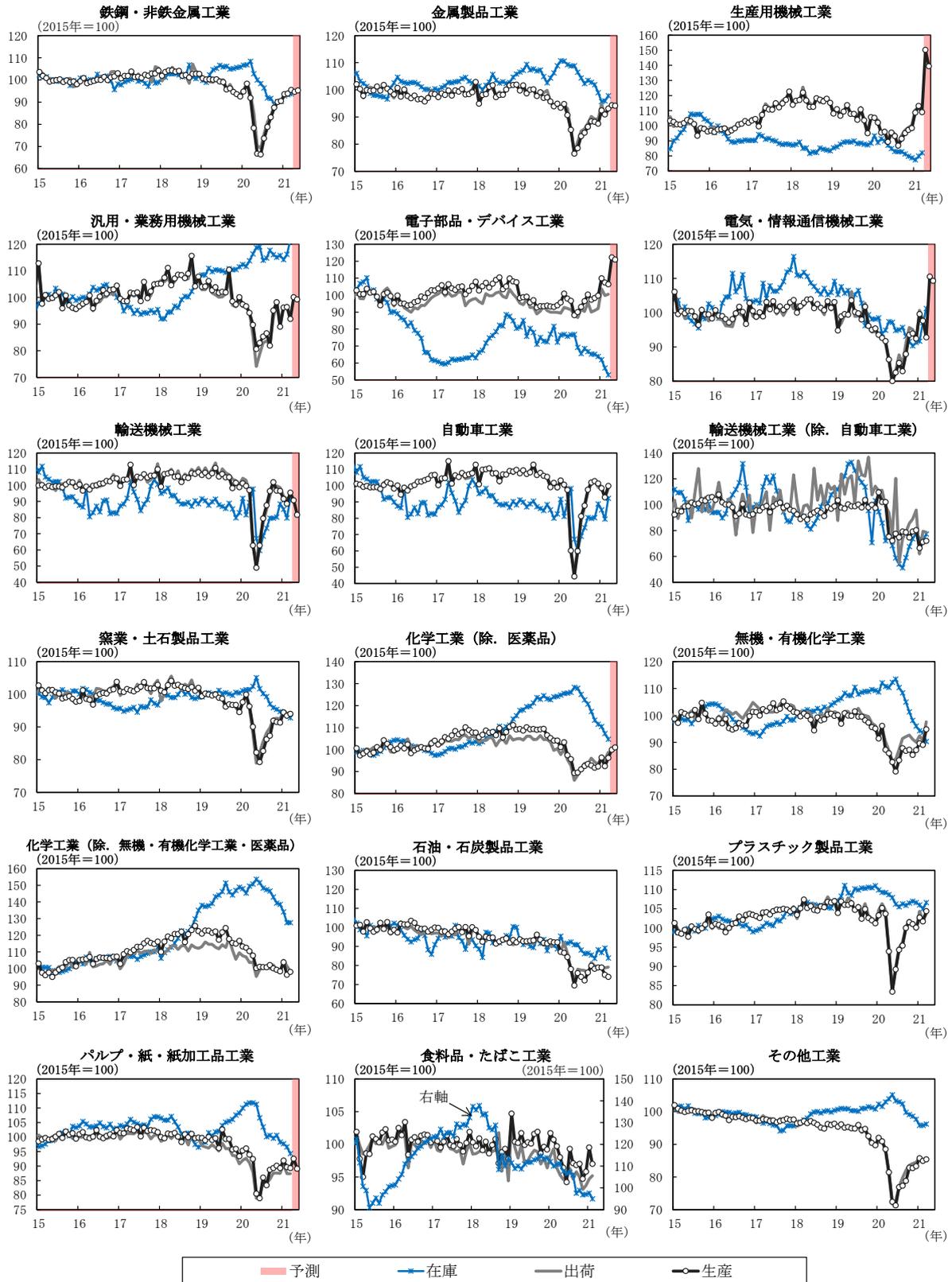


(注) 生産指数の予測値(赤色)は、製造工業生産予測指数の補正值(最頻値)。そのほかシャド一部分の値は、製造工業生産予測調査による。

(出所) 内閣府、経済産業省統計より大和総研作成

¹ 詳細は、岸川和馬「[2021年3月貿易統計](#)」(大和総研レポート、2021年4月19日)を参照。

図表3：業種別 生産・出荷・在庫の推移



(注1) 生産指数の予測値は、製造工業生産予測調査。化学工業（除.医薬品）の予測数値は、化学工業全体の予測数値を使用。

(注2) 食料品・たばこ工業は速報では公表されないため直近値は前月の確報値。

(出所) 経済産業省統計より大和総研作成

【トピック】半導体不足を受けた自動車減産の影響

世界的な半導体供給不足の中、3月19日に発生したルネサスエレクトロニクス生産子会社の工場の火災により、問題は深刻化した。4月17日に同工場の生産ラインを再開したが、半導体の出荷量が火災前と同水準に回復するのは7月上旬以降の見込みだという²。こうした影響から、自動車メーカーの減産が相次いでいる。

現時点で減産規模がどの程度になるのかは定かでないが、大和証券の自動車セクターのアナリストは日系完成車の世界生産台数が4-6月期を中心に35~40万台程度減産されると想定している³。仮に国内自動車メーカーが世界で40万台減産すると、2020年の海外生産比率が66%であることから、国内における減産台数は14万台程度となる。この場合、4-6月期の自動車工業の生産指数は前期比▲6.5%程度、鋳工業生産指数は同▲1.0%程度押し下げられる。さらに、部品などの中間財投入の減少により他業種にも影響が広がれば、押し下げ幅は拡大しよう⁴。

製造工業生産予測調査によると、輸送機械工業は4月、5月ともに低下見込みとなっており、半導体不足の影響が顕在化するとみられる。

【先行き】緩やかな上昇基調が続く

先行きの生産は、緩やかに上昇するとみている。新型コロナウイルスワクチンの世界的な普及による消費需要や投資需要の拡大が幅広い業種の増産を後押しするほか、世界的な半導体不足の影響を受け、集積回路などの半導体や半導体等製造装置の生産が増加するだろう。国内では一部地域に対して3回目の緊急事態宣言が発出されたり、まん延防止等重点措置が適用されたりしたが、財消費や設備投資への影響は限定的とみられるため鋳工業生産への影響は小さいだろう。他方、上述の半導体不足による自動車の減産は下押し要因となり、今後さらに押し下げ幅が大きくなる可能性には注意が必要だ。

製造工業生産予測調査によると、4月は前月比+8.4%（計画のバイアスを補正した試算値（最頻値）は同+4.6%）と見込まれている。業種別では生産用機械工業（同+37.9%）、電気・情報通信機械工業（同+19.1%）、電子部品・デバイス工業等（同+14.8%）など、資本財関連や半導体関連の業種で2桁の上昇が見込まれている。他方、5月の見通しは同▲4.3%と4月の大幅上昇を見込んだ生産計画からの反動で低下が見込まれている。

² ルネサスエレクトロニクス「[半導体製造工場（那珂工場）の火災発生に関するお知らせ（第六報）](#)」

³ 箱守英治「自動車セクター：4Q20決算の見方とポイント」（大和証券レポート、2021年4月15日）

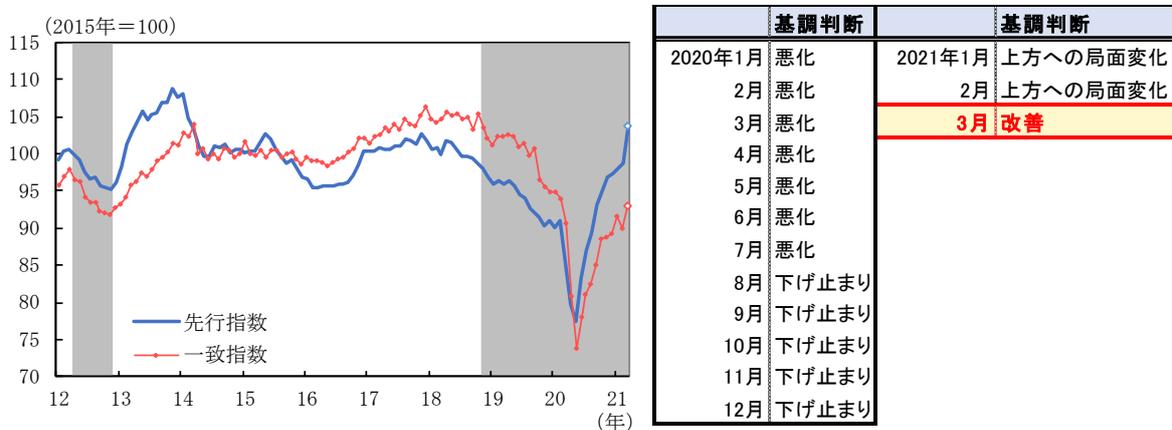
⁴ GDPへの影響については、神田慶司・山口茜・小林若葉「[日本経済見通し：2021年4月](#)」（大和総研レポート、2021年4月20日）を参照。

【3月景気動向指数】一致指数は上昇し基調判断は「改善」へ上方修正か

鉱工業指数の結果を受け、5月12日公表予定の3月分の景気動向指数は先行CIが前月差+5.1ptの103.8、一致CIは同+3.0ptの92.9と予想する（図表4）。先行指数では構成指標のうち、中小企業売上げ見通しDIや新規求人数（除学卒）などが改善した。他方、一致CIでは構成指標のうち、商業販売額（小売業）や商業販売額（卸売業）などが改善した。この予測値に基づく、一致CIによる基調判断は機械的に「改善」に上方修正される。

当面の景気は一部地域に対する3回目の緊急事態宣言の発出やまん延防止等重点措置の適用を受け、緩やかな悪化に転じるとみられる。幅広い業種に対する休業要請などが、サービス業を中心とした企業収益や雇用に悪影響を及ぼすとみられる。

図表4：景気動向指数（先行CI、一致CI）と基調判断の推移

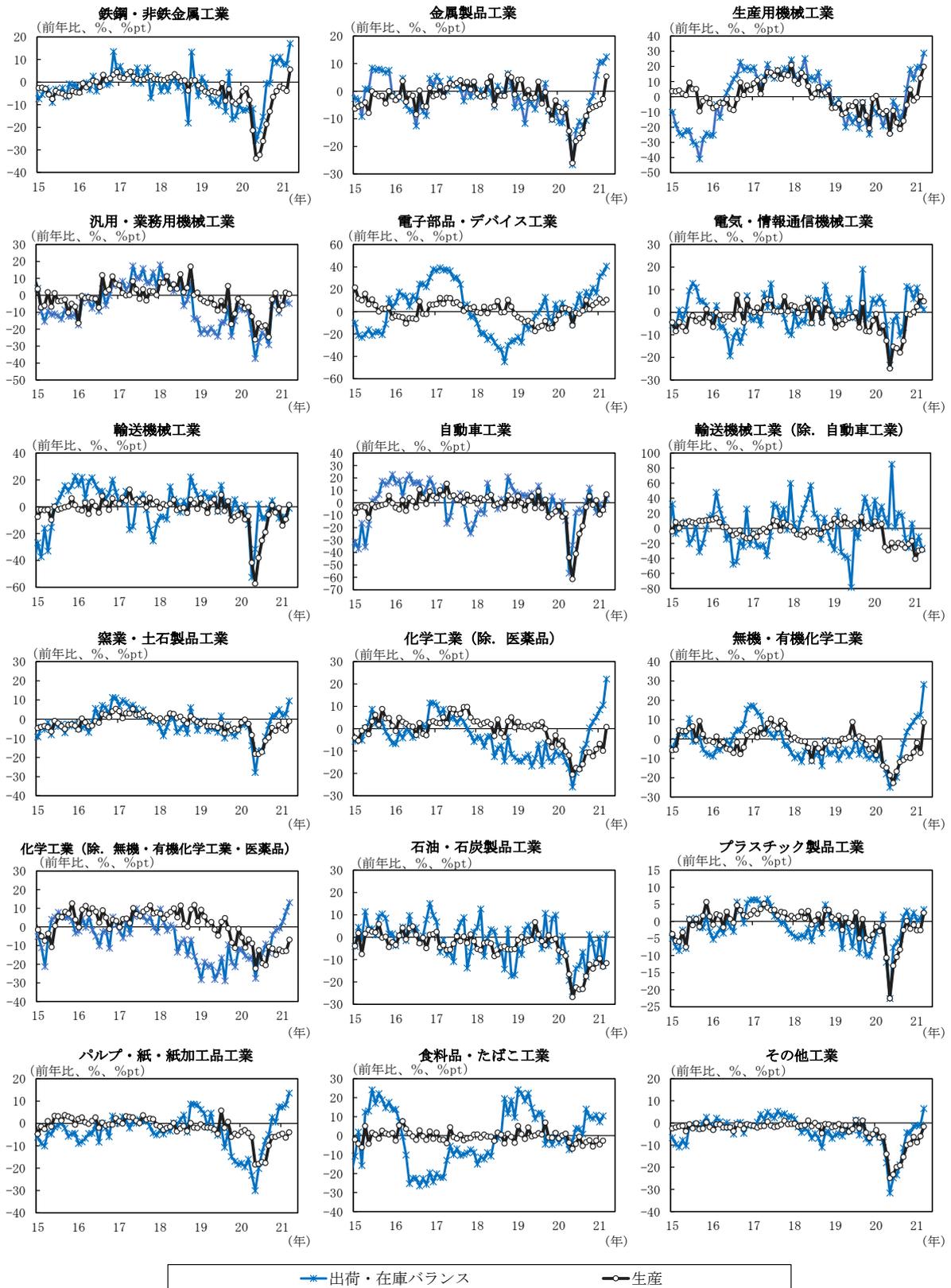


（注1）左図の直近は大和総研による予測値。右図の2021年3月の基調判断は大和総研予想。

（注2）シャドウは景気後退期。直近の景気後退期は暫定。

（出所）内閣府統計より大和総研作成

業種別 出荷・在庫バランスと生産



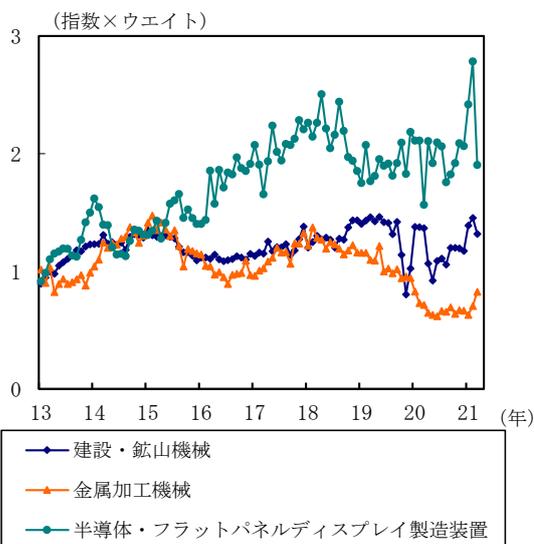
(注1) 出荷・在庫バランス＝出荷前年比－在庫前年比。

(注2) 食料品・たばこ工業は速報では公表されないため直近値は前月の確報値。

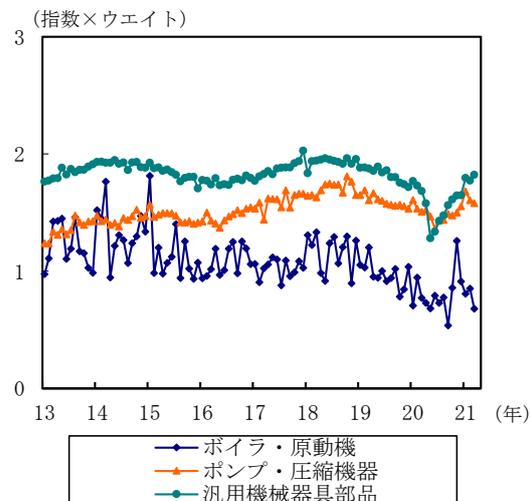
(出所) 経済産業省統計より大和総研作成

主要産業の生産動向(季節調整値)

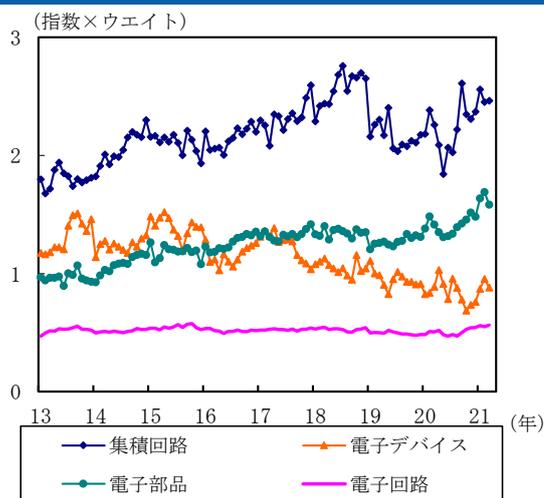
生産用機械



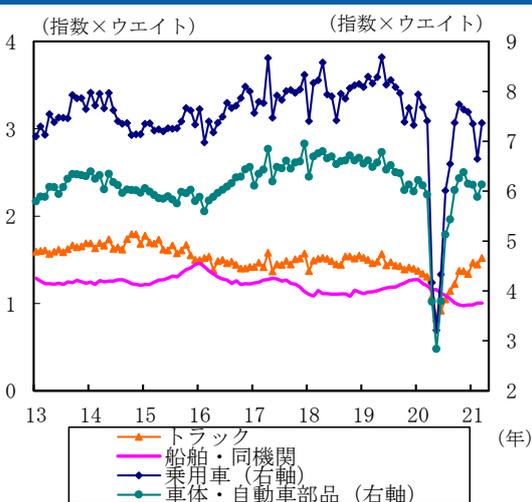
汎用・業務用機械



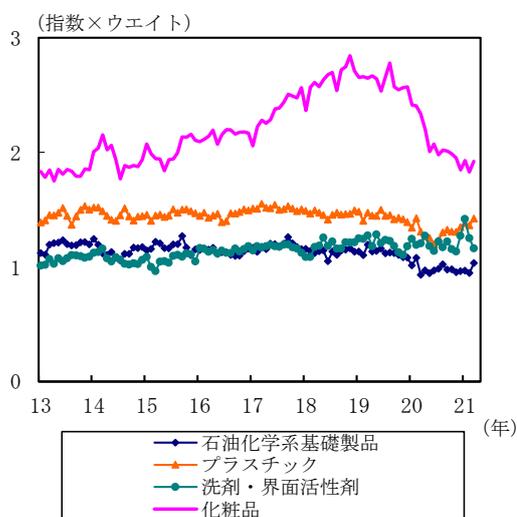
電子部品・デバイス



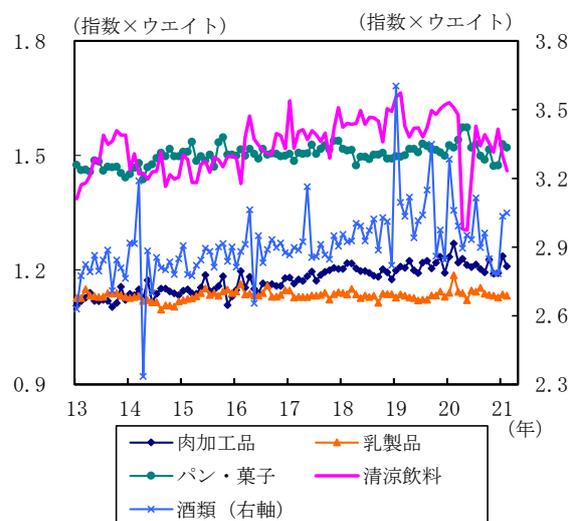
輸送機械



化学



食料品・たばこ工業



(注) 食料品・たばこ工業は速報では公表されないため、直近値は前月の確報値。

(出所) 経済産業省統計より大和総研作成